

よこはまの海を活かしたまちづくり

主催 一般財団法人みなと総合研究財団
後援 横浜市港湾局、国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所（予定）

応募期間 平成26年8月5日（火）～ ~~8月25日（月）~~

提出期限 平成26年9月 ~~16日（火）~~

※詳細は別紙の募集要項をご覧ください。

24日（水）

9月1日（月）

横浜市の海辺は、そのほとんどが横浜港の港湾区域に指定されています。現在、その横浜港の港湾計画は改訂に向けた検討が進んでいますが、そこでは、「横浜経済の活性化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり」を目指し、「国際競争力のある港」、「市民が集い、憩う港」、「安全・安心で環境にやさしい港」などの目標が掲げられています。

そこで、みなと町「よこはま」の海辺の活性化、賑わいづくりなどに寄与すること、及び海を活かしたまちづくりに寄与する人材の育成、を目的として、「横浜港内港地区（インナーハーバー）」を対象とした「よこはまの海を活かしたまちづくり」コンペを実施します。

◆ 各賞

最優秀賞（みなと総研理事長賞）	1点
企画賞（横浜市港湾局長賞）	1点
デザイン賞（京浜港湾事務所長賞）	1点
佳作	数点



平成25年度の最優秀作品「追浜遊苑」

◆ 審査委員（敬称略・順不同）

伊東 慎介	横浜市 港湾局長
山縣 延文	国土交通省関東地方整備局 京浜港湾事務所長
田久保 雅己	株式会社舵社 常務取締役／マリンジャーナリスト会議 会長
木村 尚	海洋環境専門家／NPO法人海辺つくり研究会 理事・事務局長
藤木 幸太	横浜港運協会 副会長
金田 孝之	一般財団法人みなと総合研究財団 理事長

横浜市民のみなさま（一般公募）

問合先：一般財団法人みなと総合研究財団
海を活かしたまちづくりコンペ事務局
担当 菅家（かんげ）・宇於崎（うおざき）
E-mail : suka-compe@wave.or.jp
URL <http://www.wave.or.jp/>

平成26年度海を活かしたまちづくりコンペ 募集要項

1. 趣旨

横浜市の海辺は、そのほとんどが横浜港の港湾区域に指定されています。現在、その横浜港の港湾計画は改訂に向けた検討が進んでいますが、そこでは、「横浜経済の活性化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり」を目指し、「国際競争力のある港」、「市民が集い、憩う港」、「安全・安心で環境にやさしい港」などの目標が掲げられています。

そこで、みなと町「よこはま」の海辺の活性化、賑わいづくりなどに寄与すること、及び海を活かしたまちづくりに寄与する人材の育成、を目的として、「よこはまの海を活かしたまちづくり」コンペを実施します。

2. まちづくりのテーマ・内容

◆テーマ：よこはまの海を活かしたまちづくり◆

- ・計画対象は、別紙の「**横浜港内港地区**」に示すコアエリアを対象とします。
- ・同図に示す「レクリエーション等活性化水域」及び「自然的環境を整備又は保全する区域」の利活用、背後地との連携などを主眼とした、魅力ある海を活かしたまちづくりのアイデアを募集します。
- ・提案内容は、必ず水域の利用を中心としたものとしてください。背後地のみを対象としたまちづくりの提案は審査の対象といたしません。
- ・対象地区の景観、歴史、文化、自然、産業、暮らしなどを踏まえた魅力あるまちづくりの提案をしてください。
- ・作品の制作にあたっては、横浜市の港湾計画やまちづくり関連の計画などの内容を参考としてください。

横浜市港湾局ホームページ http://www.city.yokohama.lg.jp/kowan/ 横浜市都市整備局ホームページ http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/ 景観に関するページ http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/keicho/keikan/list/
--

3. 主催・後援

主催：一般財団法人みなと総合研究財団

後援：横浜市港湾局

(予定) 国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所

4. 応募資格

- ・千葉県、東京都、神奈川県所在の大学、大学院、専門学校に在籍し、建築や都市計画、まちづくり等を学ぶ学生が対象です。個人・グループは問いません。
- ・1次審査を通過した場合に、主催者が実施する公開審査（8. 審査を参照）に出席し、提案内容をプレゼンテーションできる方に限ります。
- ・参加費は無料です。ただし、応募に係る費用（パネル制作費、郵送費、交通費等）は応募者の負担とします。

5. 応募方法

- ・別紙の応募用紙に必要な事項を記入し、事務局あてに E-mail または郵便でお送りください。
- ・応募期間：平成26年8月5日（火）～8月25日（月）9月1日（月）

・応募者には、事務局より受付完了した旨の連絡を E-mail でお送りします。

・提出先：一般財団法人みなと総合研究財団

海を活かしたまちづくりコンペ事務局 宛

〒105-0001 港区虎ノ門 3-1-10 第2虎の門電気ビルディング 4階

E-mail : suka-compe@wave.or.jp

6. 提出物

①応募用紙の写し（前項4. で提出したもの）

②下記7. の内容を収めた A1 サイズ（841mm×594mm、縦）のパネル 1枚

※スチレンボードやアルミフレーム等でパネル化したものに限りません。

※裏面に必ず作品名を記載してください。

③作品パネルの PDF データを収めた CD-R 1枚

※ファイル名は、代表制作者氏名（漢字）とし、ファイルサイズは 10MB を超えないようにしてください。

※CD-R のラベルには代表者の氏名および作品名を明記してください。

7. パネルの記載事項

・「作品名」

・「まちづくりのコンセプト」（社会背景、地域特性、提案内容、提案理由など）

・「まちづくりの提案内容を説明する図面や概念図、イメージ写真、CG、パース等」

（図面等の使用枚数や種類に制約、制限はありません。）

※パネルには、制作者の氏名や所属を特定する名称等を記載しないでください。

8. 提出方法

①応募用紙の写し、作品パネル、PDF データを収めた CD-R 1枚を事務局あてに提出してください。なお、応募にかかる費用は応募者で負担してください。着払いで送られた作品は受け取りません。

②複数の作品を応募する場合は、作品ごとに分けて提出してください。

③提出期限：平成26年9月16日（火）24日（水）必着

④提出先：5. の応募用紙提出先に同じ。

9. 審査

①1次審査（非公開）

・事務局内に設置した審査会において、以下の4項目を審査項目として入賞作品5～6点を選定します。

「地域特性の理解」、「着想の良さ」、「プランの良さ」、「表現力」

・1次審査結果は、平成26年9月下旬に E-mail にて応募者全員に通知します。

②最終審査（公開審査）と表彰式

・日時：平成26年10月19日（日） 14：00～16：30

・場所：メルパルク横浜（横浜市中区山下町16）

・審査方法：入賞作品の制作代表者にプレゼンテーションを実施していただき、審査委員の採点及び市民審査員（公募）の投票によりその場で優秀作品を選定し、表彰式を行います。

10. 公開審査でのプレゼンテーション

入賞作品の制作者には以下の方法でプレゼンテーションをしていただきます。

① パワーポイントを用いた口頭発表

- ・ 1作品あたり 10分で提案内容を説明していただきます。
- ・ 発表者は、個人応募の場合は応募者本人に限りますが、グループ応募の場合はグループメンバーであればどなたでも構いません。

② 審査委員、市民審査員との質疑応答・意見交換

- ・ 審査会場内に展示したパネルの前で、審査委員や市民審査員の方々と質疑応答、意見交換をしていただきます。
- ・ 提出いただいたパネルの他に、**模型やタブレットでのCG・動画等**による説明をしていただくことが可能です。
- ・ 模型は、A1サイズ以内（縮尺は任意）とします。また、公開審査当日に発表者が会場に直接持ち込むこと及び公開審査終了後に持ち帰っていただくことを条件とします。

※公開審査の詳細な実施要領は入賞者に個別に連絡します。

11. 審査委員（敬称略・順不同）

伊東 慎介 横浜市 港湾局長
山縣 延文 国土交通省関東地方整備局 京浜港湾事務所長
田久保 雅己 株式会社舵社 常務取締役／マリンジャーナリスト会議 会長
木村 尚 海洋環境専門家／NPO 法人海辺づくり研究会 理事・事務局長
藤木 幸太 横浜港運協会 副会長
金田 孝之 一般財団法人みなと総合研究財団 理事長

12. 賞

- ・ 最優秀賞（みなと総研理事長賞） 1点
- ・ 企画賞（横浜市港湾局長賞） 1点
- ・ デザイン賞（京浜港湾事務所長賞） 1点
- ・ 佳作 数点

※入賞者全員に賞状を、3賞に記念品を贈呈します。

13. 作品の公表

- ・ 入賞作品は、最終審査終了後にみなと総合研究財団のホームページや広報誌等において公表いたします。
- ・ 平成26年10月25・26日に赤レンガ倉庫で開催予定の「東京湾大感謝祭」において入賞作品を展示する予定です。詳細は、「東京湾再生官民連携フォーラム」及びみなと総研のホームページでお知らせします。

14. 作品の取り扱いについて

- ・ 応募作品は未発表のものに限ります。
- ・ 応募作品の著作権は制作者に帰属しますが、応募作品の発表に関する権利は主催者が保有するものとします。
- ・ 入賞作品の提案内容については、今後、横浜市が検討する港湾整備やまちづくり等を検討する際、参考にする可能性はありますが、提案内容の事業化等を前提とするものではありません。
- ・ 募集規定に違反した場合は、受賞を取り消すことがあります。

15. 問い合わせ先・提出先

一般財団法人みなと総合研究財団

海を活かしたまちづくり設計競技事務局 宛

担当：菅家（かんげ）または宇於崎（うおざき）

〒105-0001 港区虎ノ門 3-1-10

第2虎の門電気ビルディング 4階

E-mail : suka-compe@wave.or.jp

※電話での問い合わせはご遠慮ください。

『よこはまの海を活かしたまちづくり』応募用紙

■作品番号：*

提出日 平成 年 月 日

■作品名：

■代表制作者

ふりがな
氏 名：

住 所：

電話番号：

E-mail：

所 属：

■共同制作者

ふりがな
氏 名：

ふりがな
氏 名：

ふりがな
氏 名：

ふりがな
氏 名：

■作品返却先（返却希望：有・無）

ふりがな
氏 名：

住 所：

※は事務局記入欄ですので何も記入しないでください。

※本応募用紙の提出期限は、平成26年9月1日（月）です。

